

2008年9月

ご父兄の皆様へ

財団法人 海外子女教育振興財団

無償給与教科書を海外へ「追加送付」する際の送付経費の変更について

文部科学省が教科書需要数調査を行った後に、不足する教科書を海外に送付する(いわゆる「追加送付」)作業は、当財団が行っています。

当財団は、在外公館から外務省本省(領事部政策課)を經由し、文部科学省(国際教育課)を通じて、この追加送付の依頼を受け、教科書を発送しております。

この教科書を追加送付する際の送付経費は、追加申請された受益者(送料負担者)にご負担いただくものですが、従来は「送料実費※」のみをご負担いただいていたところ、2009年1月からは「送料実費」に一律「諸経費1000円※」を加算した額をご負担いただきたく存じます。

※送料実費は10円未満切り上げ。送付経費は「1件」単位であり、何人分であっても一律1000円です。

<従来> 送料実費のみ	⇒	<2009年1月受付分より> 送料実費+諸経費1000円
----------------	---	---------------------------------

追加となる「諸経費」には、梱包資材費をはじめ請求書発行や梱包に関わる人件費等諸々の費用が含まれます。これまではその一切を当財団が負担しておりましたが、今後は海外の受益者にご負担いただくこととするものです。

また、もう1点変更点がございしますが、この送付経費のお支払方法も、従来の「銀行振込」によるほか、「VISAまたはMasterカードによるインターネット決済(以下、カード決済)」が可能になりました。「カード決済」ご利用の場合は、送料負担者のEメールアドレスが必要になりますが、セキュリティの高いサイト内で行われ、振込手数料等も不要ですので、今後は「カード決済」もご利用いただければと存じます。

(なお、合わせてのお願いとなりますが、“国際宅配便の着払い”は地域によっては今後も可能ですが、「送料実費は着払い、諸経費は別途カード決済または銀行振込」で請求させていただくこととなります。着払いで発送した場合の送料は通常よりも割高になるうえ、別途でお支払いいただくことになるため、お客様には国際宅配便の着払いはあまり推奨されないようお願いいたします)

以上何卒ご協力の程をお願い申し上げます。

別紙は本変更に関わるQ & Aです。ご参照ください。

<担当> 財団法人 海外子女教育振興財団 事業部 情報サービスチーム 浅原・宮崎  
E-mail: service@joes.or.jp TEL: +81-3-4330-1349 FAX: +81-3-4330-13555  
〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

## 無償給与教科書を海外へ「追加送付」する際の送付経費変更に関わるQ & A

財団法人 海外子女教育振興財団

事業部 情報サービスチーム

**Q1. 今まで「送料実費」しか請求していなかったのに、なぜ新たに諸経費として1000円を追加するのですか。**

- ・ 追加送付は、海外子女教育振興財団(以下、財団)が行っています。
- ・ その際、同財団では、従来は送料実費のみを請求し、諸経費部分はいただいていたませんでした。
- ・ 当初(20年以上前)は追加送付の件数も少なかったため(諸経費は頂戴せず)、送料実費のみを頂戴していましたが、近年、追加送付依頼の件数が多くなり(※昨年実績で年間71件、323名分)、労力や資材費等も無視できなくなってきました。
- ・ また、別の視点から、国際宅配便で「着払い」を利用されるお客様もいたため、そのときは諸経費部分を徴収する方法が別途「銀行振込」していただくという方法しかなかったため、適用できませんでした。
- ・ しかし昨年秋より、同財団では「VISAまたはMasterカードによるインターネット決済(以下、カード決済)」ができるようになったので、上記のような不都合な点も解消され、この機に本来いただくべき諸経費をご負担いただくこととしました。

**Q2. 諸経費の1000円とは具体的に何が含まれているのですか。**

- ・ 梱包資材費のほか、人件費が含まれています。
- ・ 1件の追加送付の処理に要する時間は、凡そ30分ほどかかり、教科書の出庫、請求書作成、梱包、送付処理、文部科学省と外務省への報告、入金確認などの処理に時間を要します。
- ・ (※なお、日本国内の場合でも首都圏と関西圏以外の在住の方への教科書を給与する場合には送付経費として1500円を頂戴しており、この中には送料実費のほか諸経費部分として約1000円が含まれており、これで国内外の料金体系がほぼ一致することとなります。)

**Q3. 諸経費1000円とは、1件ですか、1人分ですか。**

- ・ 人数に関わらず「1件」です。国内でも同様に「1件」で1500円(送料込み)をご負担いただいています。

**Q4. 今までなら国際宅配便で送付してもらい「着払い」で精算できました。今後は「着払い」はできなくなるのですか。**

- ・ 「着払い」は従来どおり可能ですが、諸経費部分1000円については、別途、カード決済または銀行振込でお支払いいただくこととなります。
- ・ 銀行振込の場合には手数料がかかる場合がありますが、カード決済の場合にはお客様には手数料がかかりません。したがって、送料部分は「着払い」、諸経費部分は「カード決済」とされるのであれば、どちらもまとめて「カード決済」にてお支払いいただくことをお勧めします。

以 上